

大使館情報 (政治経済情勢、トピックス、大使館からのお知らせ)

2024年5月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

【岸田総理のブラジル訪問】

- (1) 岸田総理大臣と日系人との懇談
- (2) 日・ブラジル首脳会談
- (3) サンパウロ大学における岸田総理大臣の対中南米政策スピーチ
- (4) アルキミン副大統領兼開発・産業・貿易・サービス大臣による岸田総理大臣表敬
- (5) 岸田総理大臣の日・ブラジル・ビジネスフォーラム出席

【内政】

税制改革関連法案の提出

【外交】

伯コロンビア首脳会談

3. トピックス

- (1) 「第18回頑張って！青年！」イベントへの参加（4月7日）
- (2) 令和5年秋の外国人叙勲伝達式の開催（4月17日）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（4月発表の経済指標）

- (ア) 3月の鉱工業生産は前月比+0.9%、前年同月比▲2.8%となった。
- (イ) 2月の小売売上高は前月比+1.0%、前年同月比+8.2%となった。
- (ウ) 3月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.16%となった（前月：+0.83%）。12か月累計では+3.93%となった（前月：+4.50%）。
- (エ) 失業率（1～3月）は7.9%となり、3か月前（2023年10～12月）の7.4%から上昇した。また前年同期（2023年1～3月）の8.8%から0.9%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、4月26日時点で、GDP成長率予測については、2024年は+2.02%（前週から変わらず）で、2025年は+2.00%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2024年は3.73%（前週から変わらず）で、2025年は3.60%（前週から変わらず）となった。

(2) 経済政策等

- (ア) 予算企画省及び財務省は、4月15日、2025年予算方針法案を議会へ提出。プライマリーバランス目標について2025年での赤字ゼロ、2026年の黒字化とした。従前の2025年に黒字化させる目標を変更した。
- (イ) 4月16日、IMFは世界経済見通しを公表。ブラジルの実質GDP成長率について、2024年は前年比+2.2%、2025年は同2.1%と1月時点（2024年：同+1.7%、2025年：同+1.9%）から見通しを引き上げた。
- (ウ) 4月24日、財務省は付加価値税の創設を含む税制改革に関する憲法修正についての補足法案を議会に提出した。

(3) 金融政策

5月7日及び8日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を25bp引き下げて10.50%とすることが決定された。本決定は5:4の評決の結果であり、ルーラ政権下で任命された4名の委員は全員が50bpに投票した。次回会合は6月18日及び19日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

- (ア) 4月の為替市場は5.01～5.26リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.01～5.17リアル/ドルで推移。海外の金融政策の見通しや地政学的リスクを材料に概ね下落傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は5.12～5.26リアル/ドルで推移。海外の金融政策を巡る見通しの他、伯財政や地政学的リスク等を材料に上下し、概ね上昇傾向に推移した。

(5) 株式市場

- (ア) 4月の株式市場は124,171～129,890ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は125,334～129,890ポイントで推移。海外の金融政策の見通しや資源価格の動向等を材料に上下し概ね下落傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は124,171～127,352ポイントで推移。海外の金融政策の見通しや資源価格の動向等を材料に上下し概ね上昇傾向で推移した。

2. ブラジル政治情勢

【岸田総理のブラジル訪問】

(1) 岸田総理大臣と日系人との懇談

5月3日、ブラジルを訪問中の岸田文雄内閣総理大臣は、ブラジリア市内においてブラジリア連邦直轄区等の日系団体関係者との懇談を実施した。（詳細は以下の外務省 HP をご覧ください）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/sa/br/pageit_000001_00602.html

(2) 日・ブラジル首脳会談

5月3日、岸田総理大臣は、大統領府での歓迎式典に続き、ルーラ大統領と会談を行った。（詳細は以下の外務省 HP をご覧ください）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/sa/br/pageit_000001_00603.html

(3) サンパウロ大学における岸田総理大臣の対中南米政策スピーチ

5月4日、岸田総理大臣は、サンパウロ大学において、「中南米と共に拓く『人間の尊厳』への道のり」と題し、日本の総理大臣として10年ぶりに、対中南米政策スピーチを行った。（詳細は以下の外務省 HP をご覧ください）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/crb/pageit_000001_00617.html

(4) アルキミン副大統領兼開発・産業・貿易・サービス大臣による岸田総理大臣表敬

5月4日、岸田総理大臣は、サンパウロにてアルキミン副大統領兼開発・産業・貿易・サービス大臣による表敬を受けた。（詳細は以下の外務省 HP をご覧ください）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/sa/br/pageit_000001_00619.html

(5) 岸田総理大臣の日・ブラジル・ビジネスフォーラム出席

5月4日、岸田総理大臣は、日・ブラジルの経済団体が主催する「日・ブラジル・ビジネスフォーラム」に出席した。（詳細は以下の外務省 HP をご覧ください）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/sa/br/pageit_000001_00620.html

【内政】

税制改革関連法案の提出

4月24日、財務省は税制改革の細則に関する補則法案を下院議会に提出した。同法案は、

昨年成立した税制改正にかかる憲法修正案（EC132）に関し、主に付加価値税（IVA）に関する細則を定めるもので、同財務相によると税率は平均 26.5%（25.7～27.3%）になる見込み。

【外交】

伯コロンビア首脳会談

4月17日、ルーラ大統領は、コロンビアを訪問し、ペトロ・コロンビア大統領との首脳会談を実施した他、伯コロンビア起業フォーラムや第36回ボゴタ国際ブックフェア（FILBo）の開会式等に出席した。今次訪問では、アマゾン熱帯雨林の保護、二国間関係の拡大、両国の警察と軍の協力を促進させるためのパートナーシップへの取組に焦点が当てられた。両国外務省は、共同声明の中で「ペトロ大統領は、コロンビアが可能な限り早急にBRICSの正式メンバーとして加盟することに関心を示していると表明。ルーラ大統領は、このイニシアティブを歓迎し、コロンビアの立候補を支援することを約束した」と発表した。

3. トピックス

（1）「第18回頑張って！青年！」イベントへの参加（4月7日）

4月7日（日）、ゴイアス日伯文化協会青年会主催の「第18回 頑張って！青年！」が開催された。

本イベント冒頭には林禎二駐ブラジル日本国大使からのビデオメッセージが上映され、また会場において根本和幸一等書記官が挨拶を行った。

イベントでは、株式会社ティー・エスの創業者であり、日本の長ねぎブランド「葱王」を栽培・販売している埼玉親善大使でもある日系ブラジル人実業家の斎藤俊男氏及び原田元ゴイアス日伯文化協会会長から、自身のキャリア形成・事業の歴史や実業家としての教訓等について講演を行った。

また、当館・根本書記官より、若手日系人等の訪日機会として、四世受入れ制度や国費留学生制度について説明を行った。その後の質疑応答では、国費留学制度を活用して訪日したい若手日系人からの同制度に関する質問がある等、闊達な意見交換が行われた。



林大使からのビデオメッセージ



根本書記官から四世受入れ制度や
国費留学生制度について説明



齊藤俊男氏による講演



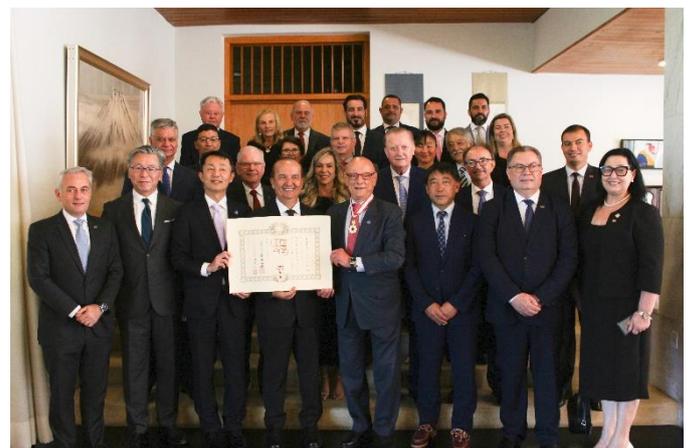
参加したゴイアス日伯文化協会青年会会員

(2) 令和5年秋の外国人叙勲伝達式の開催(4月17日)

4月17日(水)、在ブラジル日本国大使館大使公邸にて、日本・ブラジルの地域間交流及び相互理解の促進に寄与したエスペリディアン・アミン・エロウ・フィーリョ上院議員を称えるべく、令和5年秋の外国人叙勲伝達式が開催された。

伝達式では、林大使による挨拶が行われたあと、受章者(エスペリディアン・アミン・エロウ・フィーリョ上院議員)への勲章および勲記の授与、さらに受賞者によるスピーチが行われた。式典の後、各受章者の招待者の皆様と共に受章者の栄誉を讃え、和やかに懇談を行った。

令和5年度秋の叙勲受章者リストは[こちら](#)。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)
在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)
在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)
在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)
在マナウス総領事館 : [facebook](#)
在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)
在ベレン領事事務所 : [facebook](#)
在ポルトアレグレ領事事務所 : [instagram](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和5年度第4四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_zen taisaku.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2023年12月6日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部

- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2023年8月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え
査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連
絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2023年4月11日

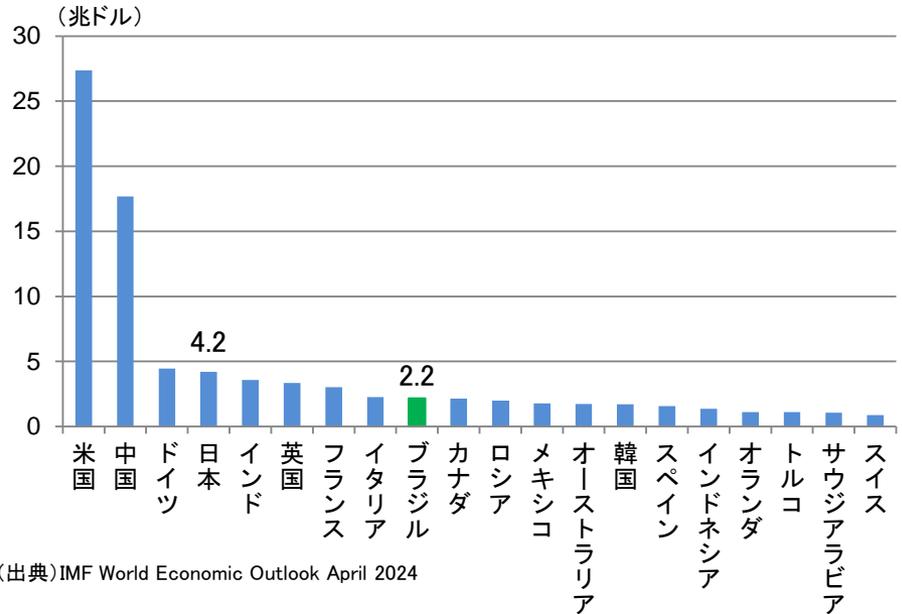
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

1. 経済構造

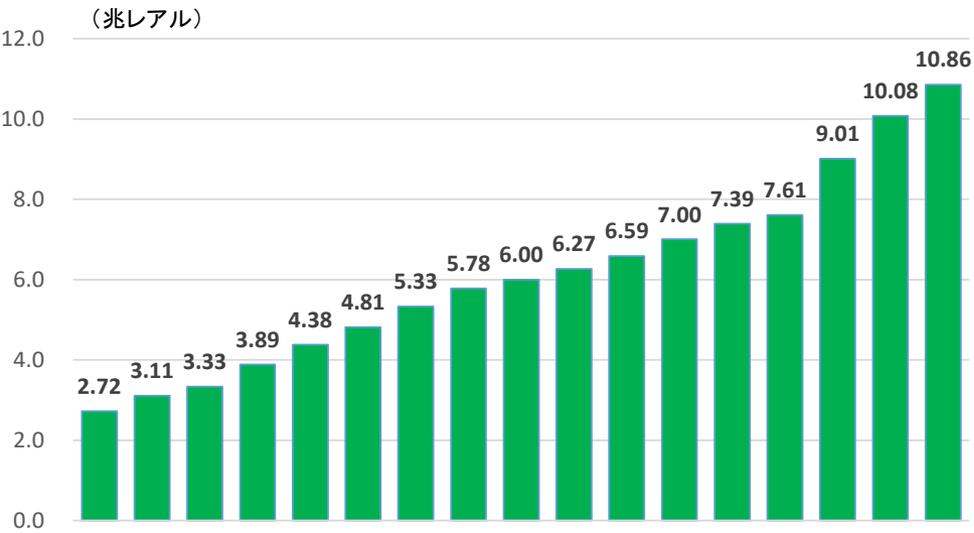
1. 人口約2億300万人、面積約851万km²(2022年国勢調査)
2. 世界第9位の経済規模(名目GDP約2.17兆ドル(2023年):日本の約52%)。一人当たりGDP(10,642ドル(2023年))は、日本の31%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別でみると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

名目GDP各国比較(2023年)



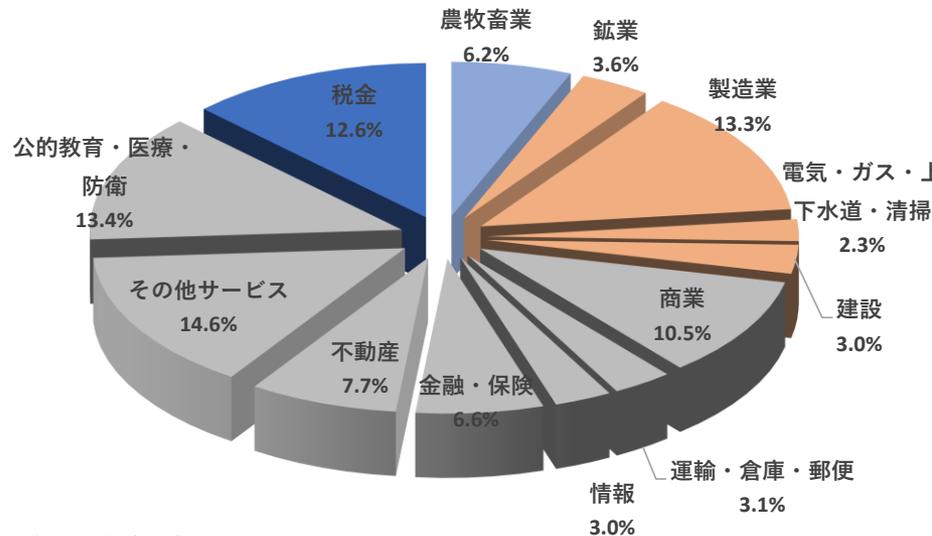
(出典)IMF World Economic Outlook April 2024

名目GDPの推移



(出典)伯地理統計院 (IBGE)

名目GDPの産業別構成比(2023年)



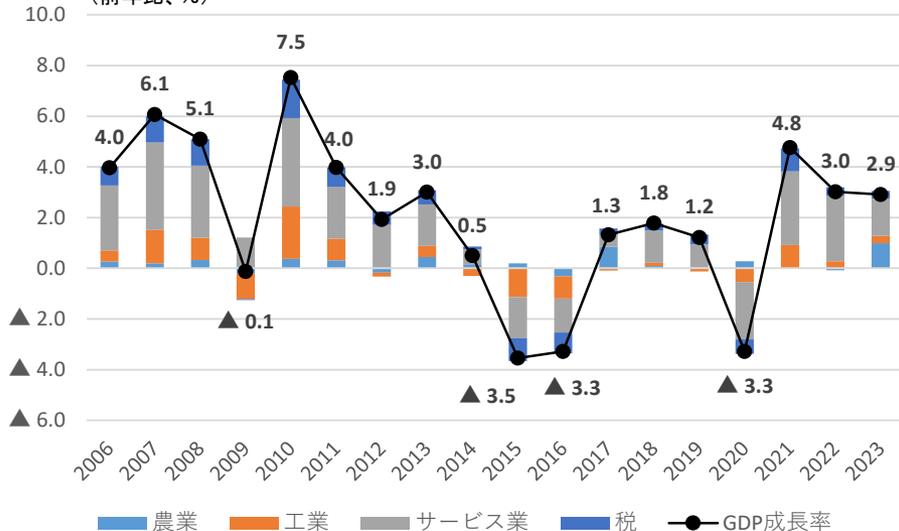
(出典)伯地理統計院 (IBGE)

II. 経済の現状

ブラジル地理統計院(IBGE)が3月に発表した2023年の実質GDP成長率は前年比2.9%(3年連続のプラス)、また同年第4四半期は前期比0.0%(2四半期連続の横ばい)、前年同期比+2.1%(12四半期連続のプラス)となった。

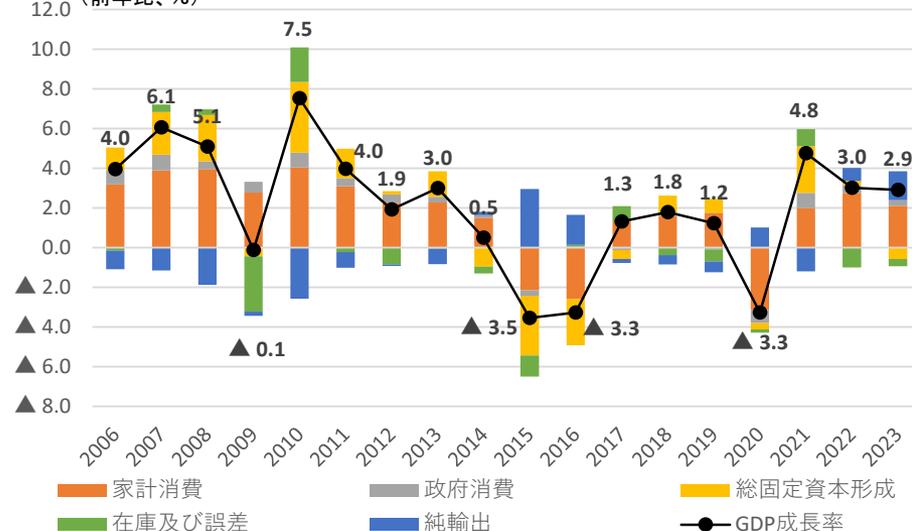
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)

(前年比、%)



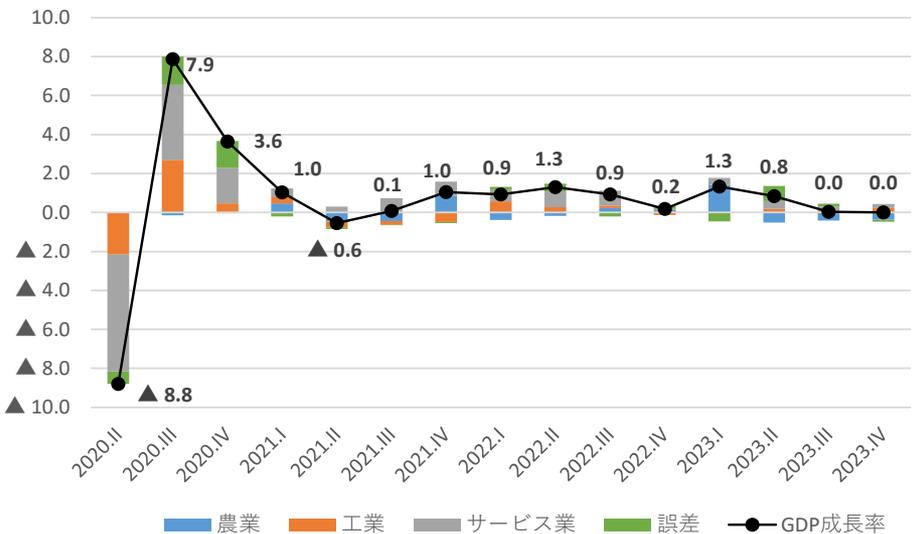
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)

(前年比、%)



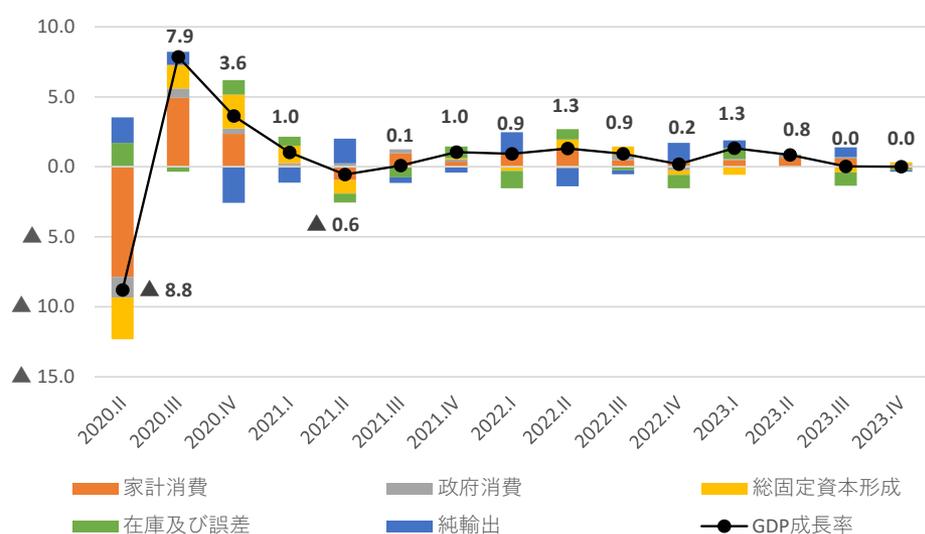
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

(季節調整済み、前期比、%)



実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

(季節調整済み、前期比、%)



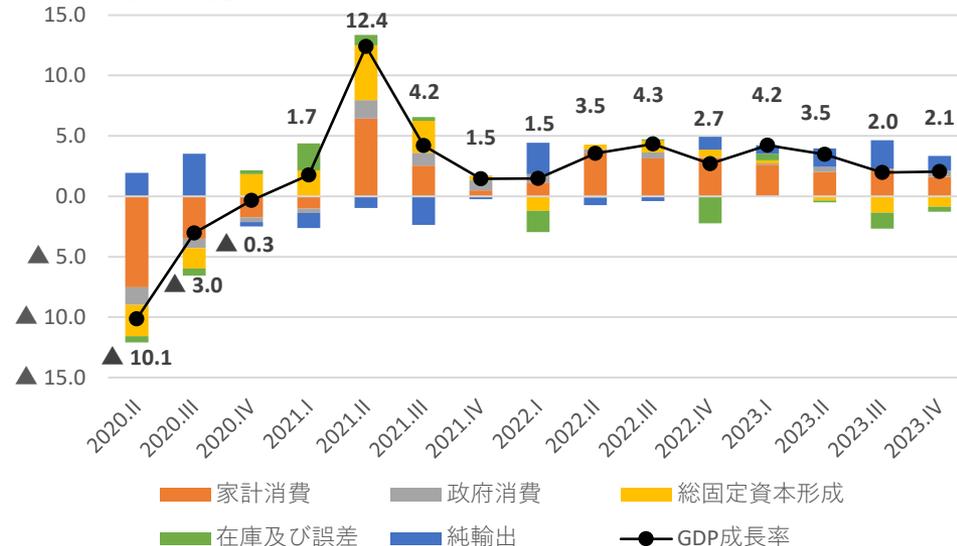
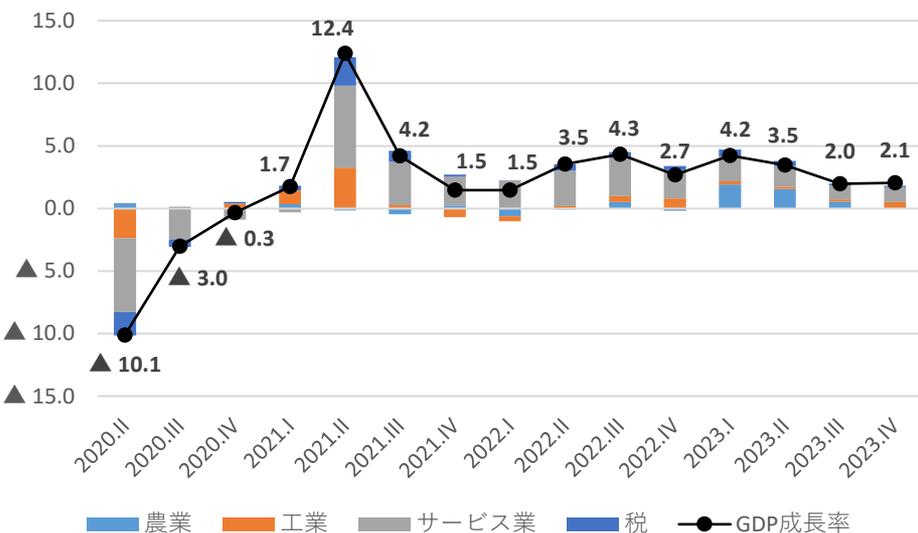
※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「誤差」、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典) 伯地理統計院 (IBGE) 2

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

(前年同期比、%)

(前年同期比、%)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典)伯地理統計院(IBGE)

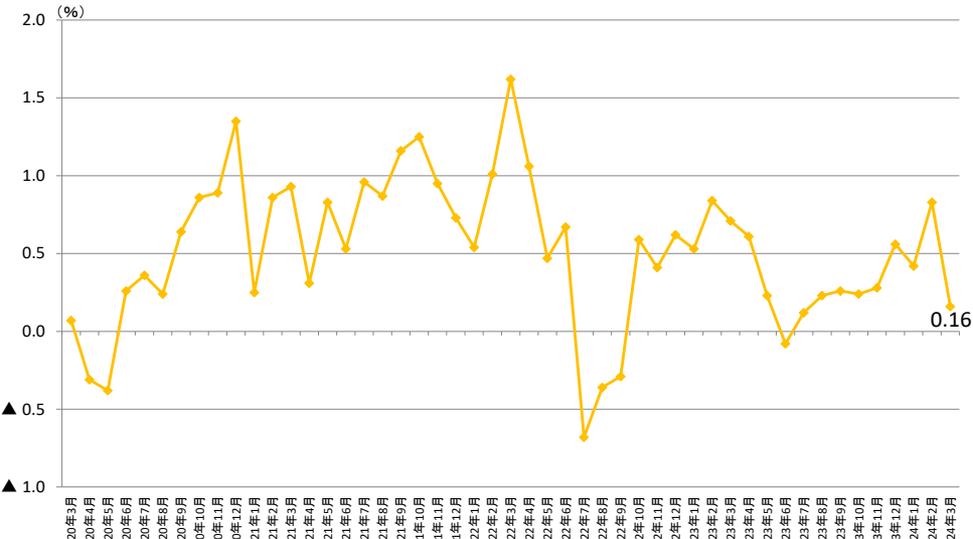
《各機関によるGDP成長率見通し》

| | 2024 | 2025 |
|--------------------------|--------|--------|
| IMF (2024年4月) | +2.2% | +2.1% |
| 伯財務省 (2024年3月) | +2.2% | +2.8% |
| 伯中銀 (2024年3月) | +1.9% | - |
| 伯中銀Focus (2024年4月26日) | +2.02% | +2.00% |

物価の動向と政策金利

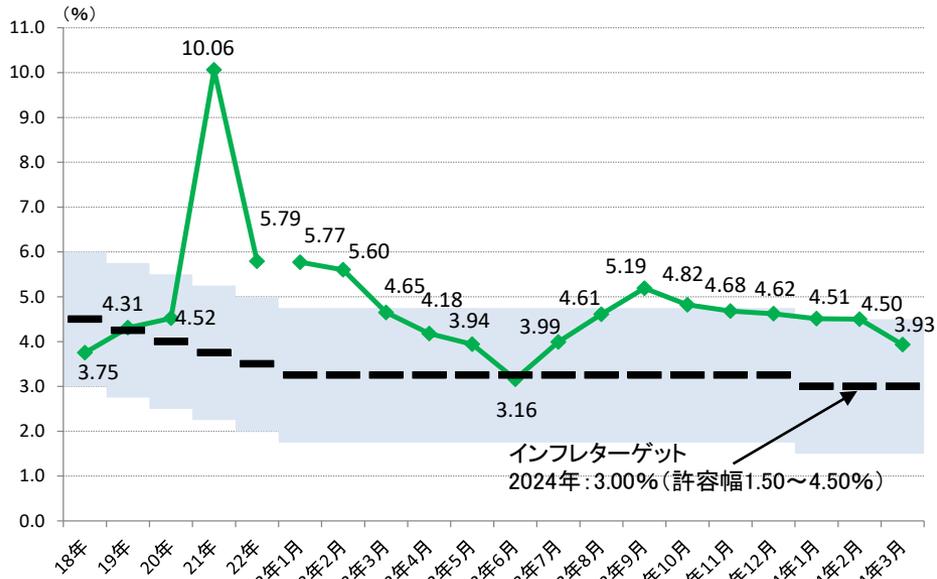
3月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.16%、12か月累計では+3.93%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



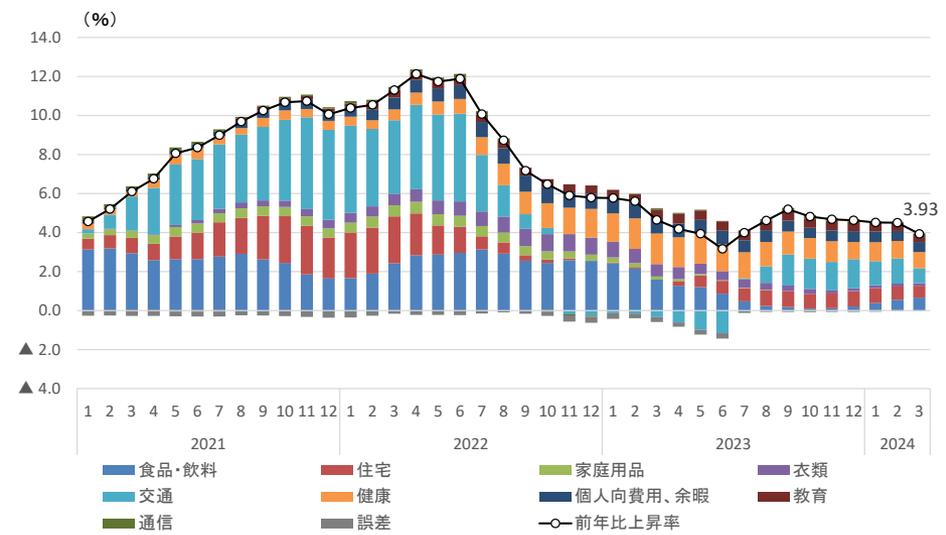
(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

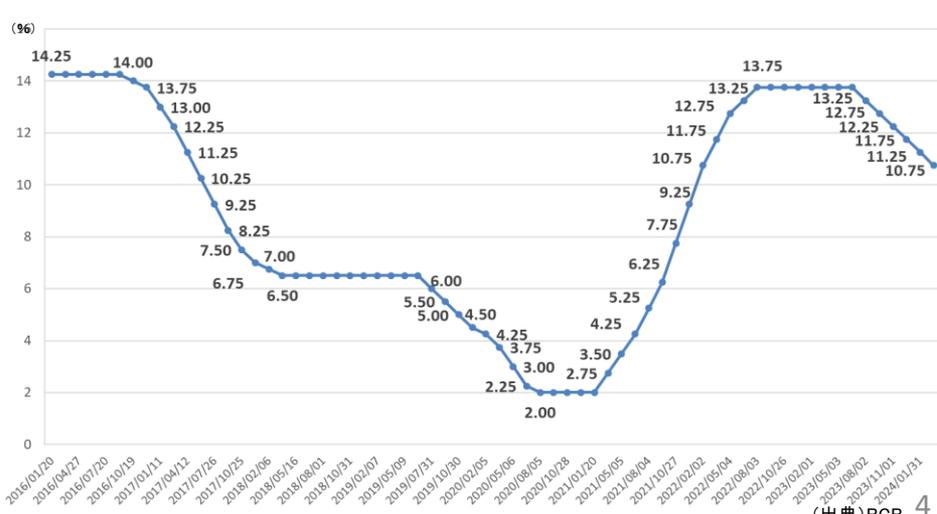
拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の項目別寄与度



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

政策金利の推移(2016年～)

次回の伯中央銀行金融政策委員会(Copom)は5月7日及び8日に開催予定。



(出典) BCB 4

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移(3か月移動平均)

失業率(1~3月)は7.9%となり、前期(10~12月)の7.4%から上昇した。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

鉱工業生産指数の推移(月次)

鉱工業生産(3月)は前月比+0.9%、前年同月比▲2.8%となった。

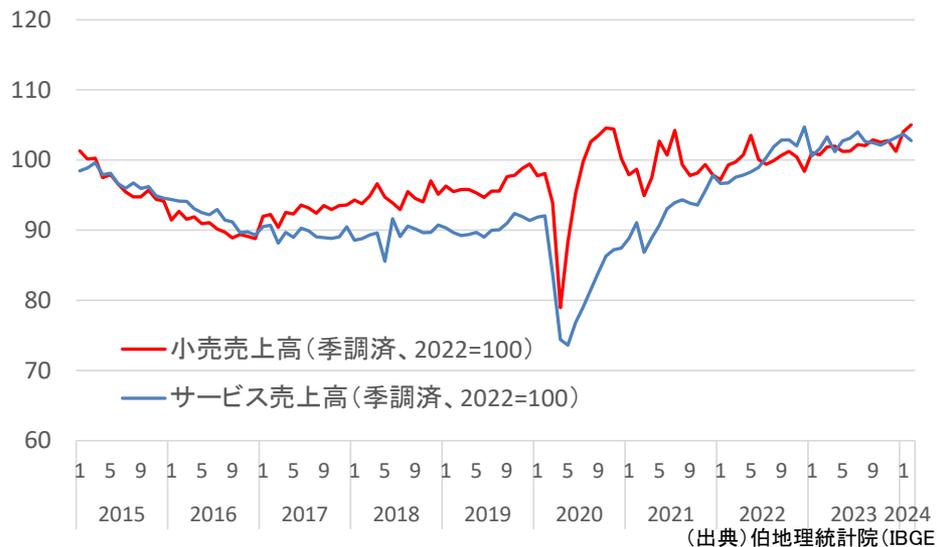
(2022年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売・サービス売上高指数の推移(月次)

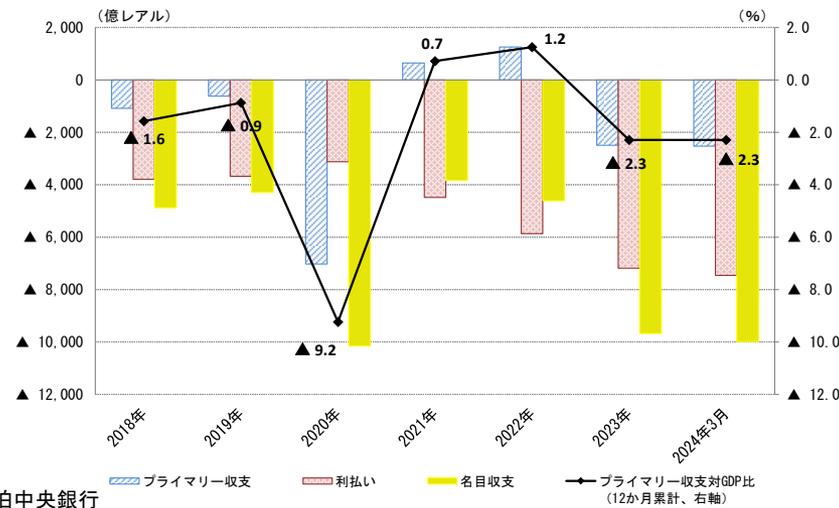
小売売上高(2月)は前月比+1.0%、前年同月比+8.2%となった。サービス売上高(2月)は前月比▲0.9%、前年同月比+2.5%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支の推移(12か月累計)

公的部門(連邦政府、地方政府、公営企業)の2024年3月のプライマリー収支(税収等と政策的経費の収支)は▲2,529億レアルの赤字、利払い費は▲7,457億レアルで、これらを合計した名目収支は▲9,986億レアル(GDP比▲2.3%)となった。



(出典) 伯中央銀行

国際収支の動向

国際収支

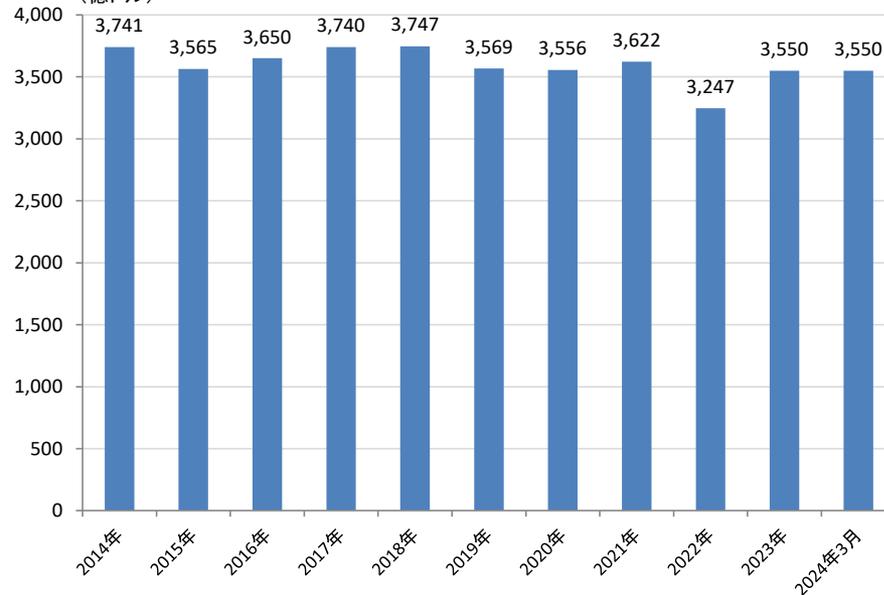
(億ドル)

| | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 3月 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 経常収支 | ▲ 282 | ▲ 464 | ▲ 483 | ▲ 308 | ▲ 144 |
| 貿易収支 | 324 | 364 | 442 | 806 | 125 |
| サービス収支 | ▲ 247 | ▲ 270 | ▲ 396 | ▲ 376 | ▲ 107 |
| 第1次所得収支 | ▲ 383 | ▲ 590 | ▲ 565 | ▲ 747 | ▲ 165 |
| 第2次所得収支 | 23 | 32 | 37 | 9 | 3 |
| 資本移転収支 | 41 | 2 | 2 | 3 | 1 |
| 金融収支 | ▲ 163 | ▲ 502 | ▲ 468 | ▲ 293 | ▲ 132 |
| 直接投資 | ▲ 413 | ▲ 302 | ▲ 413 | ▲ 360 | ▲ 174 |
| 対外直接投資 | ▲ 35 | 162 | 334 | 283 | 59 |
| 対内直接投資 | 383 | 464 | 746 | 642 | 233 |
| 証券投資 | 129 | ▲ 79 | 29 | -73 | -12 |
| 金融派生商品 | 54 | ▲ 10 | ▲ 20 | ▲ 80 | ▲ 2 |
| その他投資 | 214 | ▲ 251 | 9 | 6 | 35 |

(出典) 伯中央銀行

外貨準備高

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

外国直接投資(資本参加分)流入額

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行 ※貸付は除く

対外債務・債権収支

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

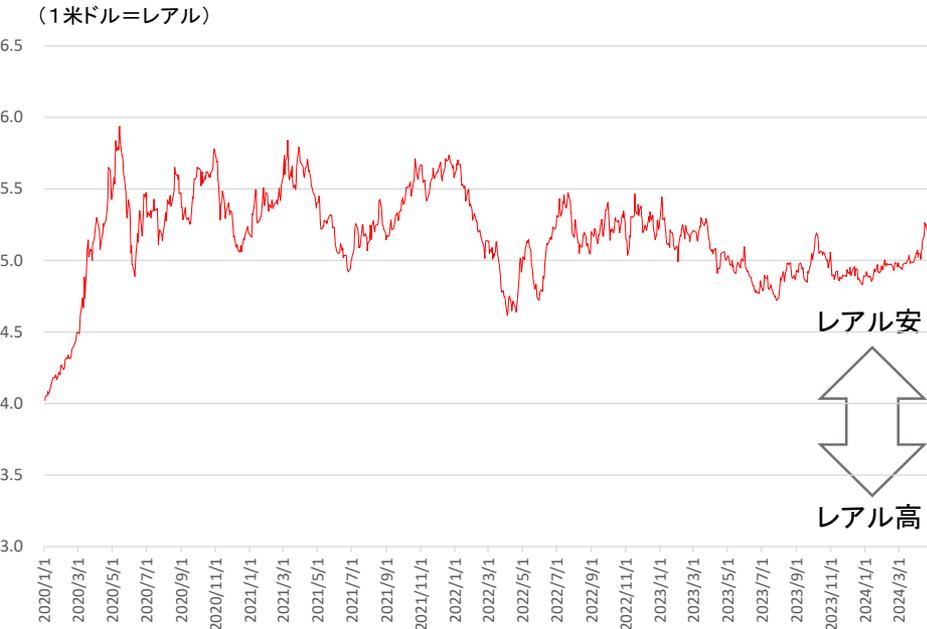
為替・株価の推移

4月の為替市場は5.01～5.26レアル/ドルで推移。

月の前半は5.01～5.17レアル/ドルで推移。海外の金融政策の見通しや地政学的リスクを材料に概ね下落傾向で推移した。

月の後半は5.12～5.26レアル/ドルで推移。海外の金融政策を巡る見通しの他、伯財政や地政学的リスク等を材料に上下し、概ね上昇傾向に推移した。

為替の推移(対米ドル)



(出典) 伯中央銀行

4月の株式市場は124,171～129,890ポイントで推移。

月の前半は125,334～129,890ポイントで推移。海外の金融政策の見通しや資源価格の動向等を材料に上下し概ね下落傾向で推移した。

月の後半は124,171～127,352ポイントで推移。海外の金融政策の見通しや資源価格の動向等を材料に上下し概ね上昇傾向で推移した。

株価指数(Ibovespa)の推移



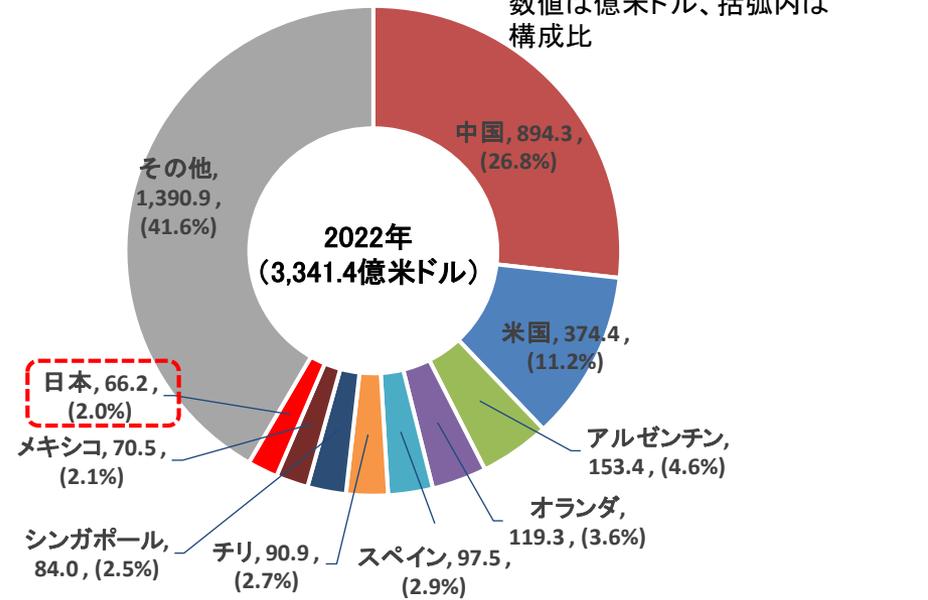
(出典) B3 7

Ⅲ. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに国別では中国、米国が、経済圏別ではEUが上位に占めている。2023年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で10位となった。

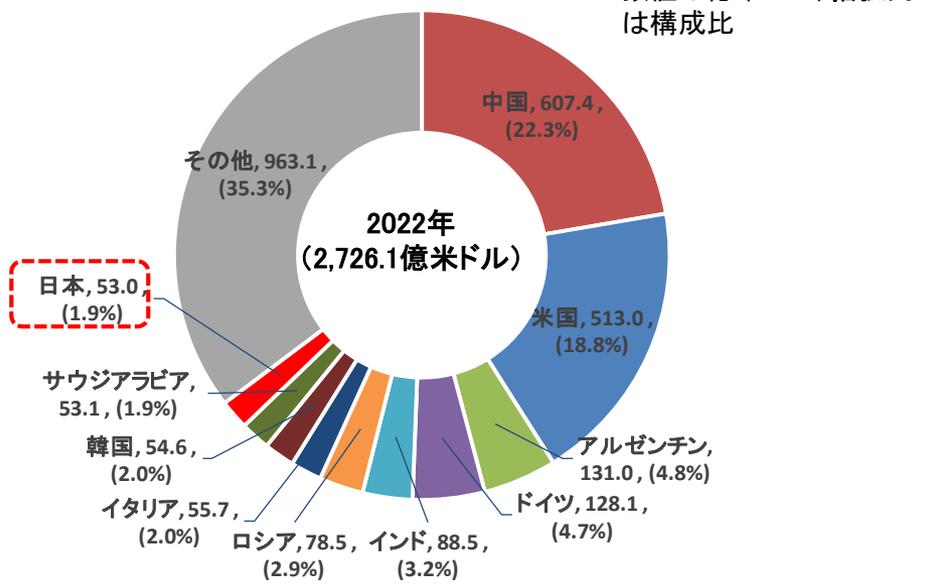
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



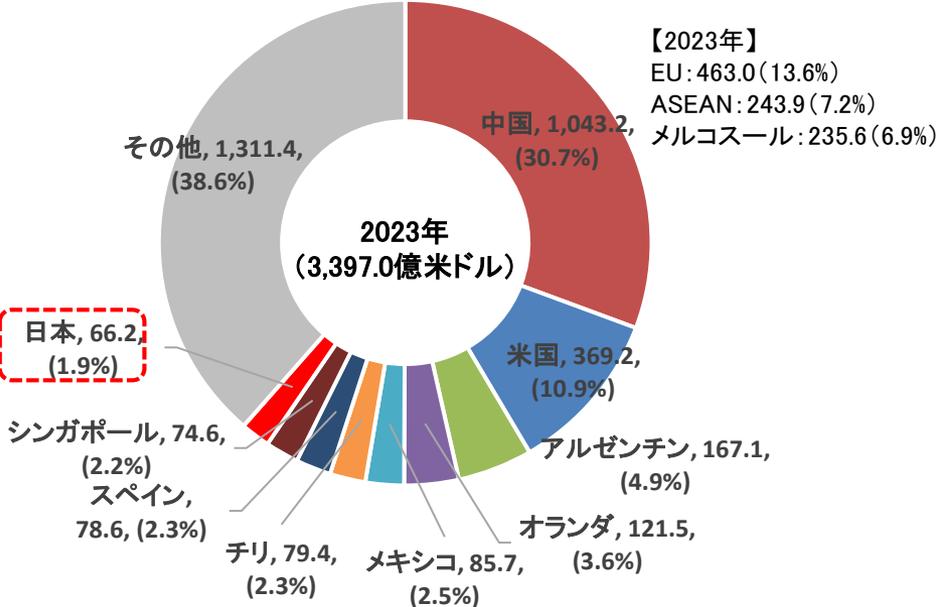
輸入額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



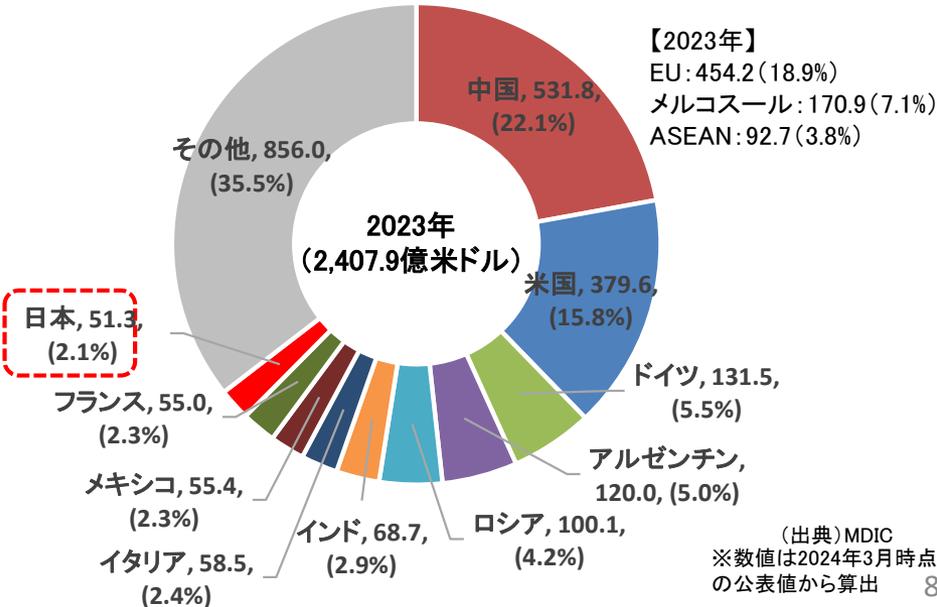
2023年 (3,397.0億米ドル)

【2023年】
EU: 463.0 (13.6%)
ASEAN: 243.9 (7.2%)
メルコスール: 235.6 (6.9%)



2023年 (2,407.9億米ドル)

【2023年】
EU: 454.2 (18.9%)
メルコスール: 170.9 (7.1%)
ASEAN: 92.7 (3.8%)

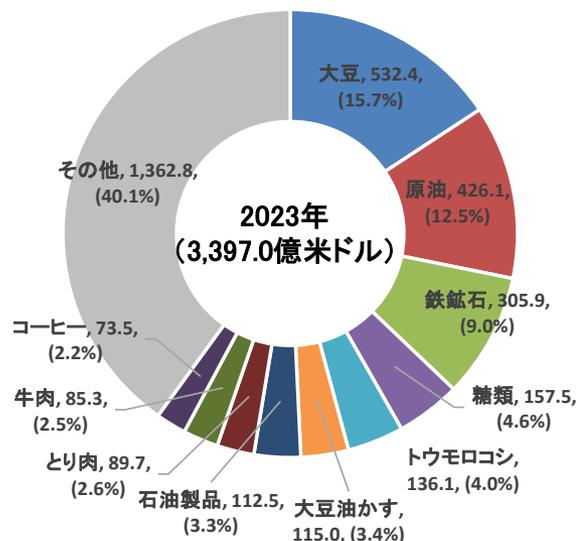


(出典) MDIC
※数値は2024年3月時点の公表値から算出

主要輸出品目は資源(原油、鉄鉱石等)、食品(大豆、トウモロコシ、糖類、肉類等)。主要輸入品目は石油製品、肥料、自動車関連、医療関連を中心に幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



【大豆】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|--------|-------|--------|
| 全体 | 532.4 | 100.0 |
| 中国 | 389.2 | 73.1 |
| アルゼンチン | 20.3 | 3.8 |
| スペイン | 14.6 | 2.7 |
| タイ | 13.9 | 2.6 |
| トルコ | 9.8 | 1.8 |

【原油】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|--------|-------|--------|
| 全体 | 426.1 | 100.0 |
| ① 中国 | 197.8 | 46.4 |
| ② 米国 | 46.8 | 11.0 |
| ③ オランダ | 35.4 | 8.3 |
| ④ スペイン | 31.9 | 7.5 |
| ⑤ チリ | 31.1 | 7.3 |

【鉄鉱石】

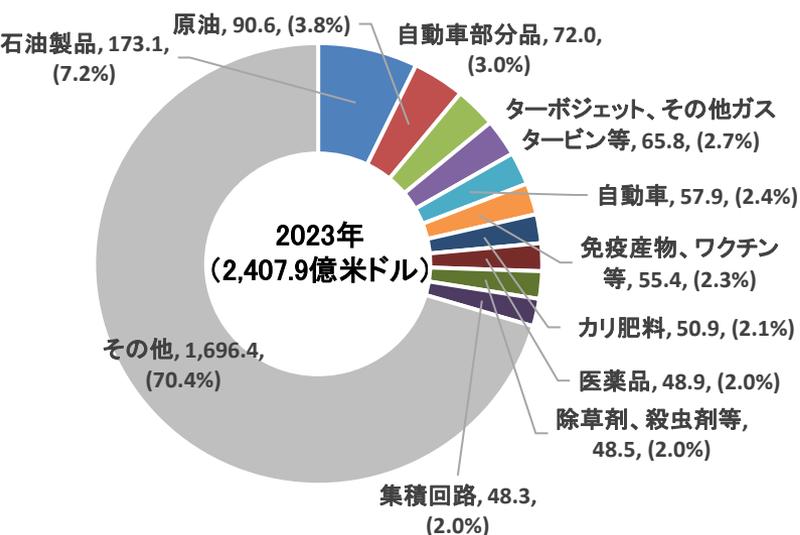
| | 億米ドル | 構成比(%) |
|-------------|-------|--------|
| 全体 | 305.9 | 100.0 |
| ① 中国 | 196.8 | 64.3 |
| ② マレーシア | 17.3 | 5.7 |
| ③ <u>日本</u> | 12.3 | 4.0 |
| ④ バーレーン | 11.0 | 3.6 |
| ⑤ オマーン | 8.5 | 2.8 |

【糖類】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|-----------|-------|--------|
| 全体 | 157.5 | 100.0 |
| ① 中国 | 19.1 | 12.1 |
| ② インド | 12.2 | 7.8 |
| ③ アルジェリア | 9.3 | 5.9 |
| ④ インドネシア | 8.2 | 5.2 |
| ⑤ サウジアラビア | 8.1 | 5.1 |

ブラジルの主要輸入品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



【石油製品】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|--------|-------|--------|
| 全体 | 173.1 | 100.0 |
| ① ロシア | 52.6 | 30.4 |
| ② 米国 | 48.0 | 27.7 |
| ③ オランダ | 13.8 | 8.0 |
| ④ UAE | 9.9 | 5.7 |
| ⑤ スペイン | 9.4 | 5.4 |

【原油】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|-----------|------|--------|
| 全体 | 90.6 | 100.0 |
| ① サウジアラビア | 19.7 | 21.8 |
| ② 米国 | 16.0 | 17.7 |
| ③ アルジェリア | 13.7 | 15.1 |
| ④ ガイアナ | 9.8 | 10.9 |
| ⑤ アルゼンチン | 8.5 | 9.4 |

【自動車部分品】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|-------------|------|--------|
| 全体 | 72.0 | 100.0 |
| ① 中国 | 9.9 | 13.7 |
| ② <u>日本</u> | 9.4 | 13.0 |
| ③ ドイツ | 7.0 | 9.7 |
| ④ メキシコ | 6.9 | 9.6 |
| ⑤ 米国 | 5.6 | 7.8 |

【ターボジェット等】

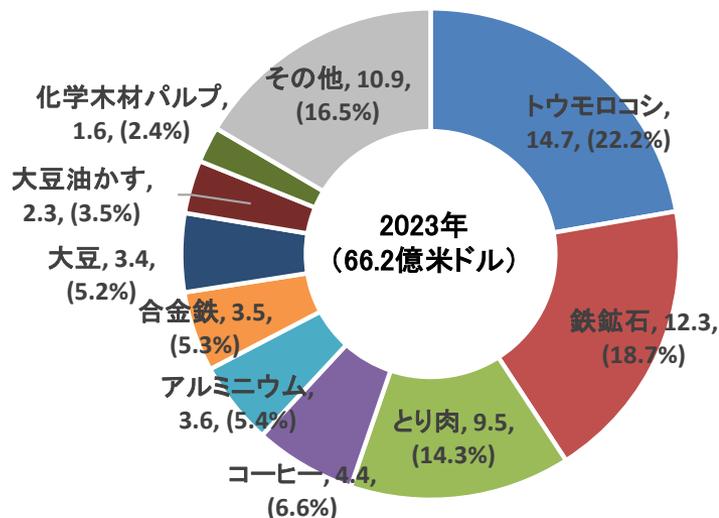
| | 億米ドル | 構成比(%) |
|--------|------|--------|
| 全体 | 65.8 | 100.0 |
| ① 米国 | 48.6 | 73.8 |
| ② フランス | 9.2 | 14.0 |
| ③ カナダ | 1.4 | 2.1 |
| ④ ドイツ | 1.3 | 2.0 |
| ⑤ トルコ | 1.3 | 1.9 |

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（トウモロコシ、肉類、コーヒー、大豆等）、主要輸入品目は自動車関連、有機化学品、電子部品、医療関連等。

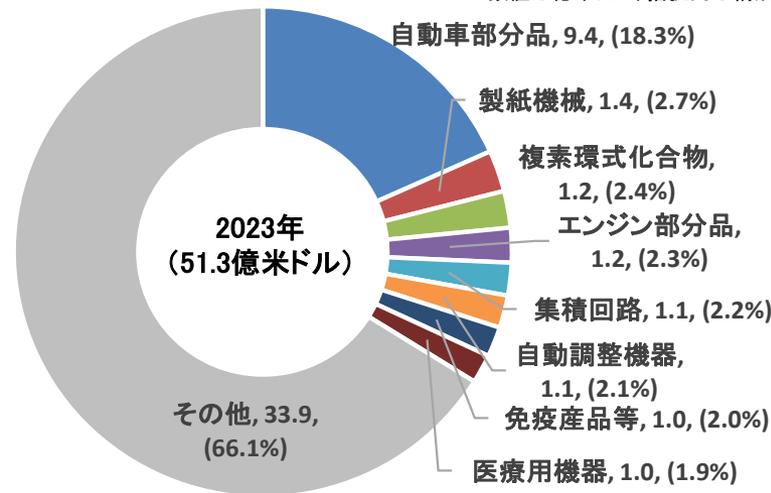
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) MDIC

※数値は2023年3月時点の公表値から算出

ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2023年)

| 【トウモロコシ】 | | | 【鉄鉱石】 | | | 【とり肉】 | | | 【アルミニウム】 | | |
|---------------|---------|---------|---------------|----------|---------|---------------|---------|---------|---------------|---------|---------|
| | 億円 | 構成比 (%) | | 億円 | 構成比 (%) | | 億円 | 構成比 (%) | | 億円 | 構成比 (%) |
| 総計 | 6,890.1 | 100.0 | 総計 | 16,249.3 | 100.0 | 総計 | 2,009.3 | 100.0 | 総計 | 7,103.7 | 100.0 |
| ① アメリカ合衆国 | 3,286.8 | 47.7 | ① オーストラリア | 8,084.2 | 49.8 | ① <u>ブラジル</u> | 1,254.8 | 62.4 | ① アラブ首長国連邦 | 1,253.8 | 17.6 |
| ② <u>ブラジル</u> | 2,939.9 | 42.7 | ② <u>ブラジル</u> | 5,628.3 | 34.6 | ② タイ | 675.8 | 33.6 | ② オーストラリア | 1,119.5 | 15.8 |
| ③ アルゼンチン | 304.7 | 4.4 | ③ カナダ | 1,315.5 | 8.1 | ③ アメリカ合衆国 | 36.9 | 1.8 | ③ <u>ブラジル</u> | 524.5 | 7.4 |
| ④ 南アフリカ共和国 | 273.1 | 4.0 | ④ 南アフリカ共和国 | 632.2 | 3.9 | ④ ハンガリー | 21.5 | 1.1 | ④ インド | 511.3 | 7.2 |
| ⑤ ウクライナ | 30.5 | 0.4 | ⑤ アメリカ合衆国 | 179.3 | 1.1 | ⑤ フランス | 7.3 | 0.4 | ⑤ ニューージーランド | 508.4 | 7.2 |

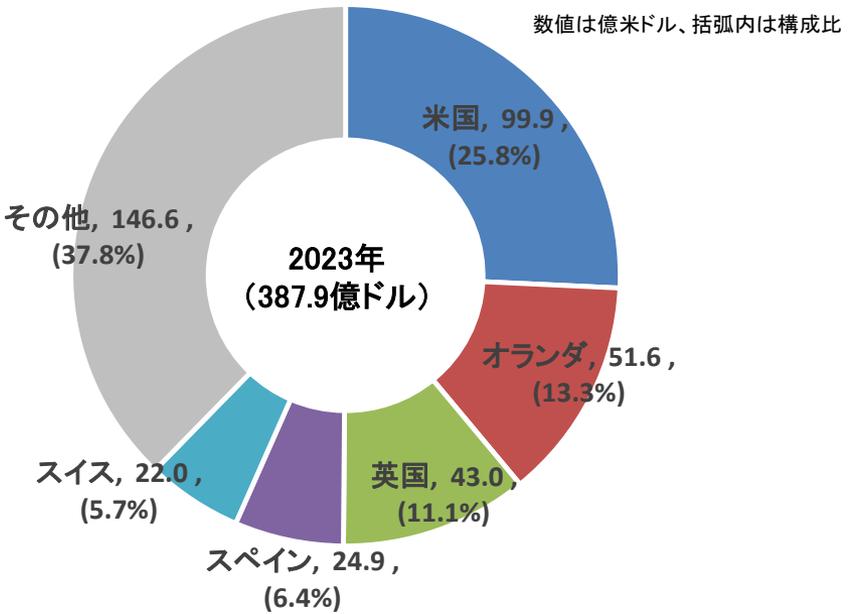
| 【コーヒー】 | | | 【大豆】 | | | 【合金鉄】 | | |
|---------------|---------|---------|---------------|---------|---------|---------------|---------|---------|
| | 億円 | 構成比 (%) | | 億円 | 構成比 (%) | | 億円 | 構成比 (%) |
| 総計 | 2,192.6 | 100.0 | 総計 | 3,097.1 | 100.0 | 総計 | 3,489.7 | 100.0 |
| ① <u>ブラジル</u> | 676.7 | 30.9 | ① アメリカ合衆国 | 2,098.5 | 67.8 | ① カザフスタン | 782.5 | 22.4 |
| ② ベトナム | 365.1 | 16.7 | ② <u>ブラジル</u> | 555.5 | 17.9 | ② <u>ブラジル</u> | 509.3 | 14.6 |
| ③ コロンビア | 262.3 | 12.0 | ③ カナダ | 412.1 | 13.3 | ③ 中華人民共和国 | 359.2 | 10.3 |
| ④ グアテマラ | 177.5 | 8.1 | ④ 中華人民共和国 | 30.8 | 1.0 | ④ 南アフリカ共和国 | 353.7 | 10.1 |
| ⑤ エチオピア | 133.0 | 6.1 | ⑤ フランス | 0.1 | 0.0 | ⑤ マレーシア | 311.7 | 8.9 |

※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄(フェロアロイ)7202、大豆1201

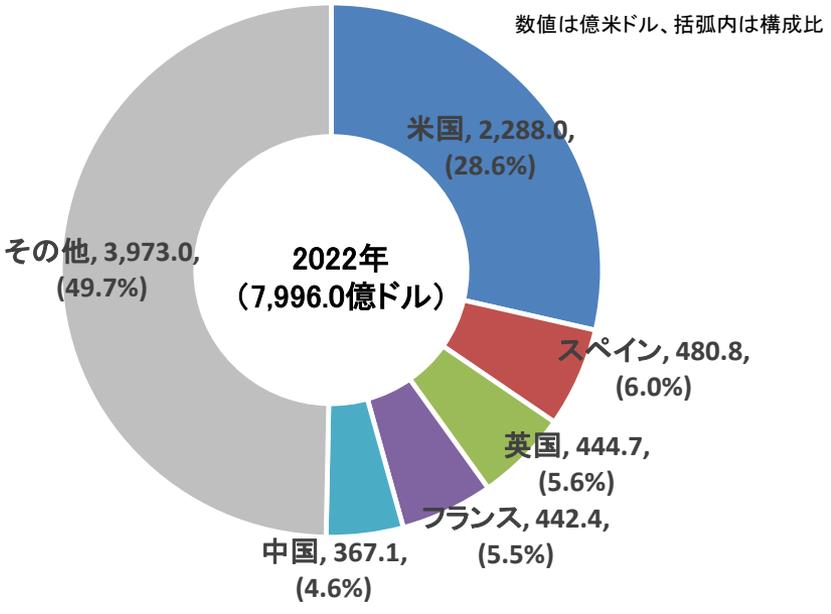
(出典)財務省(日本)
※数値は2024年4月末時点の公表値から算出

IV. 日伯投資

対伯直接投資(フロー、資本参加分)の国別構成比

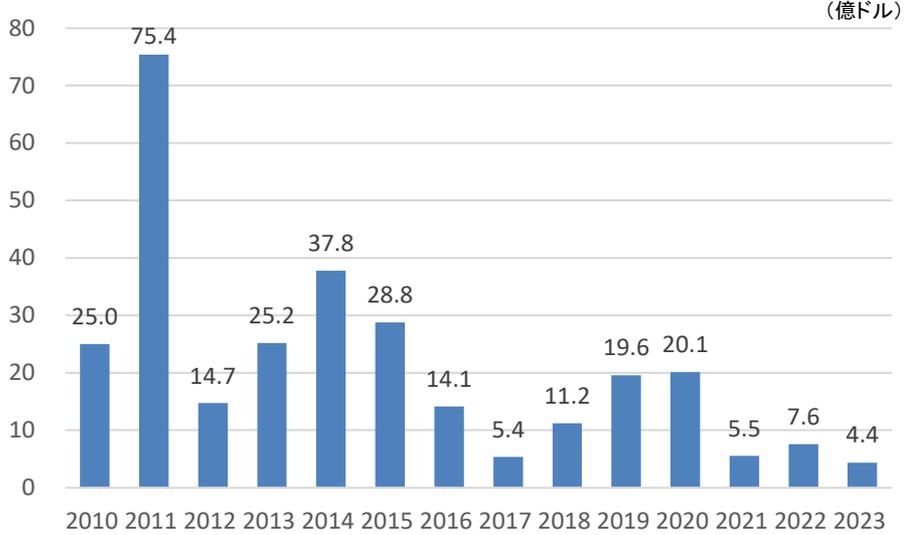


対伯直接投資(ストック、資本参加分)の国別構成比



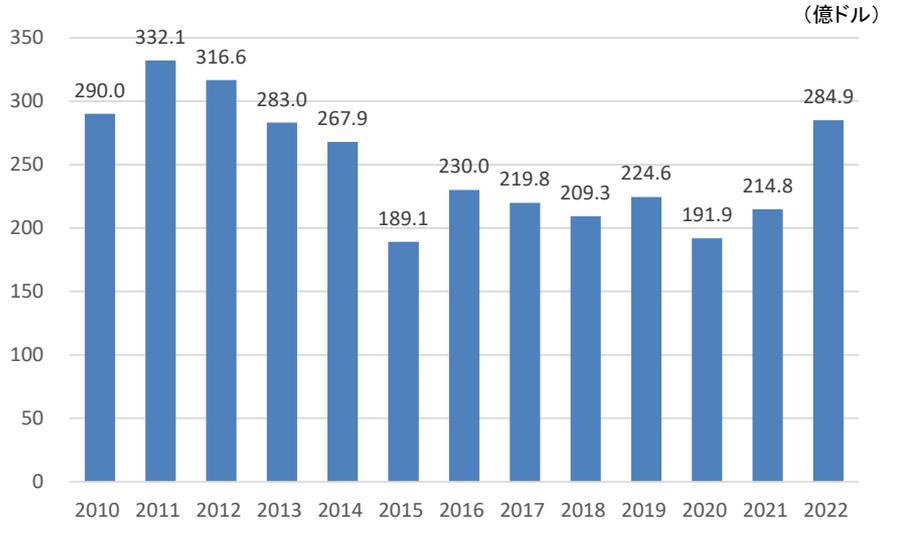
日本の対ブラジル直接投資(フロー、資本参加分)の推移

2023年: 4.4億ドル(構成比1.1%)、15番目の規模



日本の対ブラジル直接投資(ストック、資本参加分)の推移

2022年: 284.9億ドル(構成比3.6%)、8番目の規模



(出典) 伯中央銀行「Ingressos de investimentos diretos no país - Participação no capital - Distribuição por país imediato」

(出典) 伯中央銀行「Investimento direto no País - Participação no capital - Posição - distribuição por país do controlador final」2024年3月時点で公表されているのは2022年分まで。